

安全データシート  
TFM

作成日:2012年7月1日

改訂日:2023年10月1日

## 1. 化学品等及び会社情報

化学品の名称	TFM(ティッシュフリーズマウント)
製品コード	303-100-1~5(クリア、青、黄、赤、緑)
会社名	株式会社ファルマ
住所	東京都渋谷区大山町 36-7
電話番号	03-6407-2570
ファックス番号	03-3465-0300
電子メールアドレス	marketing2@falma.co.jp
緊急連絡電話番号	080-8878-0242
推奨用途及び使用上の制限	試験研究用:病理組織用凍結包埋剤

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類	いずれの項目も、分類対象外、分類できない又は区分外
GHS ラベル要素	
絵表示	該当なし
注意喚起語	該当なし
危険有害性情報	なし
注意書き	
安全対策	なし
応急措置	なし
保管	なし
廃棄	なし

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
成分	①ポリエチレングリコール ②ポリビニルアルコール

## 4. 応急措置

吸入した場合	気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。眼の刺激が持続する場合は、医師の診察、手当を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診察、手当を受けること。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、二酸化炭素、粉末、砂、土、泡
使ってはならない消火剤	なし
火災時の特有の危険有害性	データなし
特有の消火方法	データなし
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	密閉された場所に立ち入る前に換気する。 必要に応じ、保護具を着用する。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め、浄化の方法及び機材	漏出物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
安全取扱注意事項	使用後は容器を密閉すること。
衛生対策	取扱い後は手などをよく洗うこと。
保管	
安全な保管条件	日光を避け、密閉して室温で保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度及び許容濃度	未設定
設備対策	排気用の換気設備を設けること。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	必要に応じ、呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	必要に応じ、保護手袋を着用すること。
眼の保護具	必要に応じ、保護眼鏡、保護面を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じ、保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
物理状态	透明粘稠性液体
色	無色又は青、黄、赤、緑
臭い	微臭
融点／凝固点	データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／ 可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	4～6
動粘性率	データなし
溶解度	水に溶解
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.03(水=1)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	該当しない

#### 10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件下で安定。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	なし
避けるべき条件	なし
混触危険物質	なし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素

#### 11. 有害性情報

急性毒性	
経口	ラット LD <sub>50</sub> >100 g/kg
経皮	ウサギ LD <sub>50</sub> >50 g/kg
吸入：蒸気	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は 眼刺激性	データなし
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生環境有害性 短期(急性) データなし

水生環境有害性 長期(慢性) データなし

残留性・分解性 データなし

生態蓄積性 データなし

土壌中の移動性 データなし

オゾン層への有害性 データなし

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

焼却又は地方自治体の基準に従うこと。

### 汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

### 規制なし

### 注意事項

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

重量物を上積みしない。

## 15. 適用法令

非該当

---

上記内容は当社で入手可能な情報に基づいて作成していますが、記載データや評価に関しては、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。未知の有害性があり得ますので、取扱には十分ご注意ください。  
本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。